



三小だより

7月の生活目標

あとしまつをしっかりとしよう

学園交流の集大成としての自然教室

校長 高岸 浩三

毎日、暑い日が続いています。梅雨入りして以降、連日30度を超える日が続いています。梅雨の湿度の高いじめじめした気候も困りものですが、これだけ暑い日が続くと、夏本番のこれからが心配になります。学校では、校庭にミストを設置しました。また、プールに日よけネットと、散水ホースを設置して、暑さ対策を実施しています。暑いからこそプールが楽しみだったはずが、今は暑すぎてプールに入れられない日があります。学校でもこまめな水分補給の声掛けをしていきます。登下校中も立ち止まって水分を取ることが重要です。暑い夏も暑さ対策を取りながら元気に過ごしてほしいものです。ご家庭でも、お子さんへの声掛け、暑さ対策をよろしくお願ひいたします。

先日、6年生と一緒に三鷹市川上郷自然の村へ自然教室に行ってきました。あいにく天候には恵まれませんでした。お互いに協力し合いながら楽しい三日間を過ごすことができました。三鷹市では、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進していますが、第七小学校と学園合同で行く自然教室は、そのなかでも大きな行事の一つとなっています。三小と七小は同じ三鷹中央学園に所属する小学校です。半分以上の卒業生が四中へと進学していきます。義務教育9年間を見据えながらの小学校間の交流は、スムーズな中学校への進学の重要な役割を担っています。1年生から6年生まで毎年のように七小との交流会がもたれます。運動会の演技をお互いに見合ったり、音楽会の合唱・合奏を聞きあったりする学年もあります。学習の成果を発表しあう学年もあります。6年生は英語交流授業を実施しました。学習での交流は、新たな学びの視点に気が付くなど学習の広がりきっかけにもなります。また、レクリエーションを企画・運営するなど子どもたち主体の楽しい交流は、人間関係を豊かにするだけでなく、会を進める実行力を高めてくれます。学園合同で行く6年生の自然教室は、学園交流の集大成といえる学校行事なのです。

学校では、子どもたちの心を豊かにするために、人と人が関わること、交流が重要だと考えています。学校における学年学級での交流、異学年交流、学園での交流、様々な交流の機会を通して、子どもたちが成長できるように、子どもたちの活動をこれからも見守っていきたく思います。

保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



三鷹中央学園コミュニティ・スクール委員会☆ニュース

6月は、コミュニティ・スクール委員会はお休みでした。今回のニュースでは、令和7年度三鷹中央学園コミュニティ・スクールの全体活動計画についてお知らせいたします。

三鷹中央学園(四中、三小、七小)コミュニティ・スクール委員会では、「学習ボランティア」が組織され、保護者の皆様、地域の方々の力を借り、子どもたちの学習等を豊かにする取り組みを進めています。そしてたくさんの地域団体が子どもたちの学び、遊びを豊かにしています。

令和7年度三鷹中央学園コミュニティ・スクールの合言葉は、『地域と学園をつなぎ、みんな一緒に子どもたちを育てよう』です。今年度の全体活動計画の中で挙げられたキーワードは、「防災教育」「中央学園スマイルアクション」「CS委員同士のコミュニケーション」「子どもたちと向き合おう」「コミュニティ・スクールの発信」「体験的・探究的な「深い学び」を支えよう」です。CS(コミュニティ・スクール)委員の皆様はこれらのキーワードをもとに、三鷹市教育委員会から任命を受け、委員として活動しています。いつも本当にありがとうございます。(参考:令和6年度発行三鷹中央学園コミュニティ・スクールガイドより一部引用抜粋)

「三鷹中央学園」通信

三鷹中央学園第2回学園研究会

5月21日(水)に学園合同研究会が三小で行われました。今回は「自立した学びについてのイメージを共有する」という内容でグループ討議を行いました。小学校で目指す「自立した学び」をどのように中学校で活用してほしいか、また中学校からは「自立した学び」に向けて小学校で身に付けておいてほしい力などについて様々な意見が出されました。この話し合いをもとに、今年度の研究主題を決めます。

毎号、三鷹中央学園各校の様子が分かる HP の QR コードを掲載します。
ぜひ、各校の取り組みをご覧ください。

学園各校の様子「三小」



学園各校の様子「七小」



学園各校の様子「四中」



自然体験教室（6年 北川）

6月9日（月）から11日（水）まで、2泊3日で長野県川上村にある三鷹市川上郷自然の村へ自然教室に行ってきました。「Let's 団結!! 豊かな大自然に触れ合い仲間と絆を深めよう～一生に一度の大冒険～」というスローガンのもと、レンジャープログラムやナイトハイク、アドベンチャーツアー等、三鷹市では体験できない様々な活動に取り組みました。七小との学園合同自然教室ということで、多くの活動を共に行いました。初めはぎこちない様子の子どもたちでしたが、事前に交流したこともあり、すぐに仲間として互いを受け入れ、活動することができました。三小だけでなく、学園としての絆も深めた3日間となりました。

もちろん3日間の活動の中では、予定通りにいかないこと、うまくいかないこと等、失敗も当然ありました。しかし、子どもたちは、その何倍も楽しみ、成功からだけでなく、失敗からも多くの大切なことを学びました。「あきらめずに挑戦すること」「お互いの意見をしっかり聞き合うこと」「責めるのではなく、励まし合うこと」「感謝の気持ちをもつこと」等、子どもたちが書いた振り返りには、自然教室を通しての学びが綴られており、一人ひとりが自身の成長を実感できていることが分かりました。帰校式での児童の言葉の中には、「これからの生活の中で、学んだことを活かしたい。」という言葉がありました。この3日間で積んだ経験値を今後の学校生活の中でどのように活かし、役立て、さらに成長していくのか。大いに期待しつつ、引き続き支えていきたいと思えます。保護者の皆様には、事前の準備や健康管理等、ご理解・ご協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

水泳学習について（水泳担当 山下 陽子）

水泳学習が始まりました。水着のご準備など、ご協力いただきありがとうございます。

水泳学習は、低学年は「水遊び」、中学年からは「水泳運動」として、どのような遊びができるか？どのように意識したらうまく泳げるようになるのか？を、児童自身が考えながら学びを進めていきます。安全に学習を進めていくことができるよう、引き続き、体調の確認や水泳カードのご準備など、ご協力のほどよろしくお願いたします。

来校の際は、必ず「名札」を着用ください。

学校へお越しになる際は、必ず「名札」の着用をお願いいたします。正門ではスクールエンジェルスさんが、安全管理をしていますので、「名札」を提示してください。どうぞよろしくお願いたします。

※現在、西門（原則朝の通勤時間後施錠）・学童門（原則施錠）してあります。校内の安全管理のため、どうかご理解とご協力をお願いいたします。